



敦賀港港湾計画改訂

概要版

令和3年12月

福井県土木部港湾空港課



敦賀港港湾計画改訂の概要

航空写真（令和元年11月8日撮影）

■ 鞠山防波堤の延伸
・ 防波堤の延伸(300m)
< 港内静穏度の向上 >

荷役の安定性確保による
物流の効率化

■ 鞠山南地区の拡張
ユニット貨物の集約による連続3バース化
・ (-14)260m岸壁、(-14)330m岸壁、(-9)220m岸壁
・ 用地造成、土地利用変更、臨港道路
< 幹線貨物輸送対応 >

貨物の集約・埠頭用地
拡張による物流の効率化
① 高規格ユニットロードターミナルの形成
② 九州⇄本州⇄北海道を結ぶ
日本海側の拠点
③ 東南アジア航路の誘致
④ 貨物の集約・埠頭用地拡張
による物流の効率化

■ 水面貯木場の埋立

小型船の適正収容・土地需要
に対応した遊休化施設の
有効活用

災害時における物資輸送
拠点としての機能強化

■ クルーズ船・外航フェリー
バースの位置付け
・ (-10)390m岸壁
< 寄港需要の高まりへの対応 >

大型クルーズ船等の受入に
よる賑わい拠点の形成

■ 静穏な水域を活用した休憩船、
作業船、避難船の受入
■ プレジャーボート等係留の
ための棧橋の設置

海上航行安全への寄与

プレジャーボートの適正収容



凡例

- 既設岸壁
- 今回計画
- 臨港道路
- 主要道路

至 敦賀IO



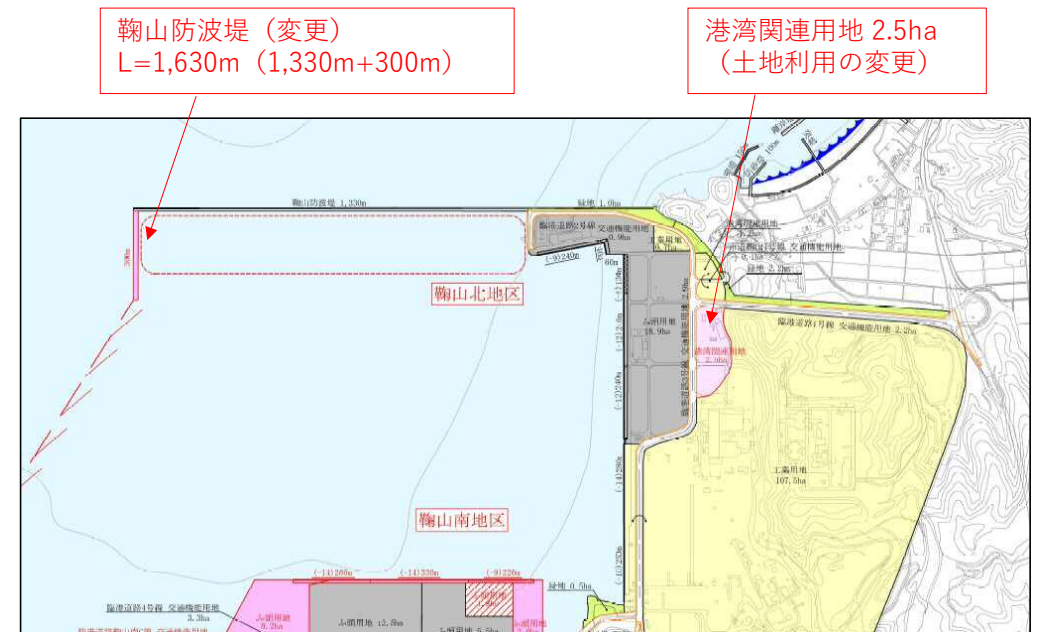
計画変更の内容（鞠山北地区）

- 港内静穏度の確保のため、鞠山防波堤を西側端部から南方向に延伸する(300m)。
- 鞠山防波堤背後の空間は、時代の要請に柔軟に対応可能な空間として、開発留保空間を位置づける。

【既定計画】



【今回計画】



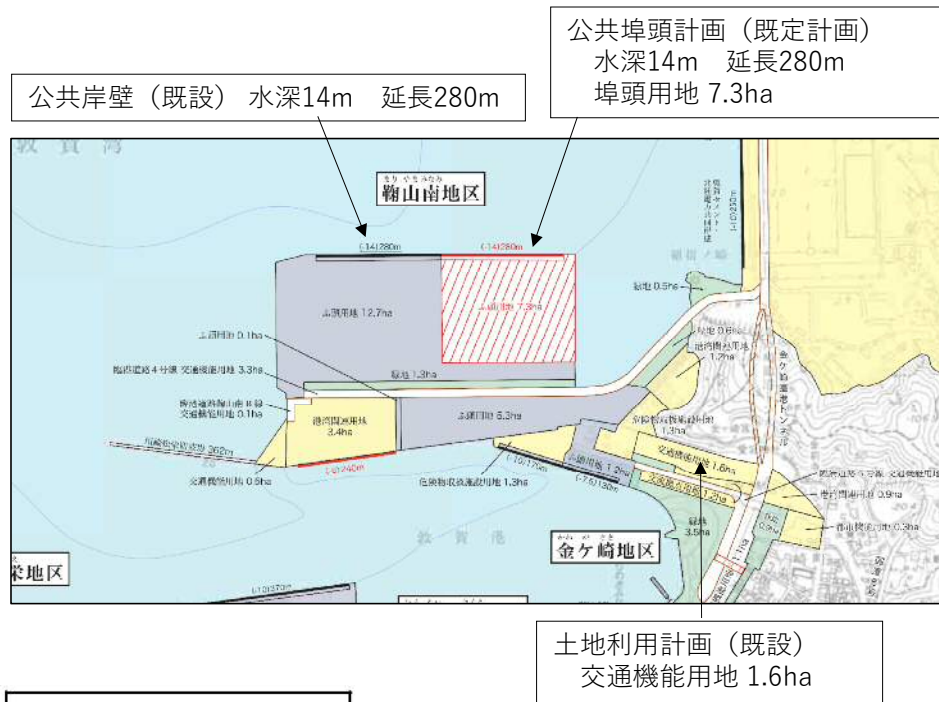
凡例	
新規・変更	———
計画削除	———



計画変更の内容（鞠山南地区）

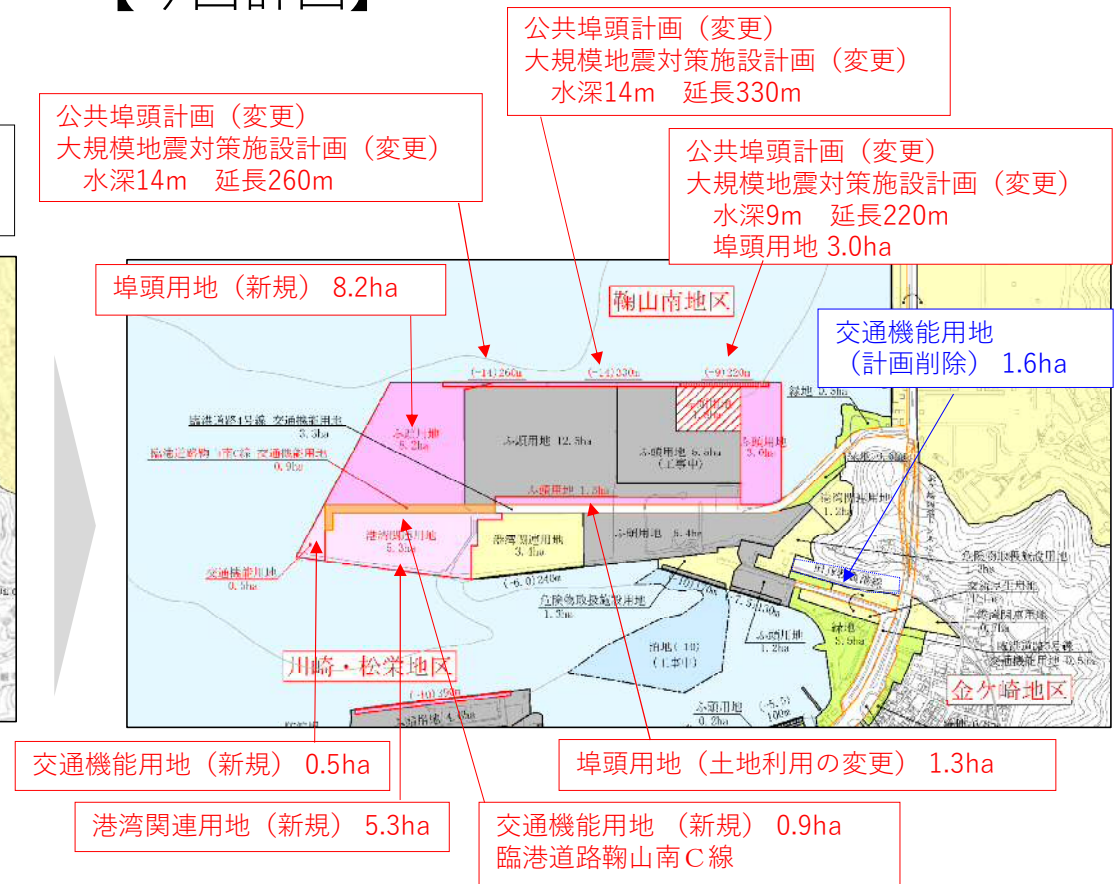
- 分散するユニット貨物を集約し、大型バルク貨物にも対応するため、水深14m(2バース)、水深9mの連続3バースを計画する。
- バース整備に伴い、埠頭用地(8.2ha、3.0ha)、港湾関連用地(5.3ha)を新たに整備する。
- 西側拡張に伴い、交通機能用地(臨港道路鞠山南C線)を新規に計画する。

【既定計画】



凡例	
新規・変更	■
計画削除	■

【今回計画】

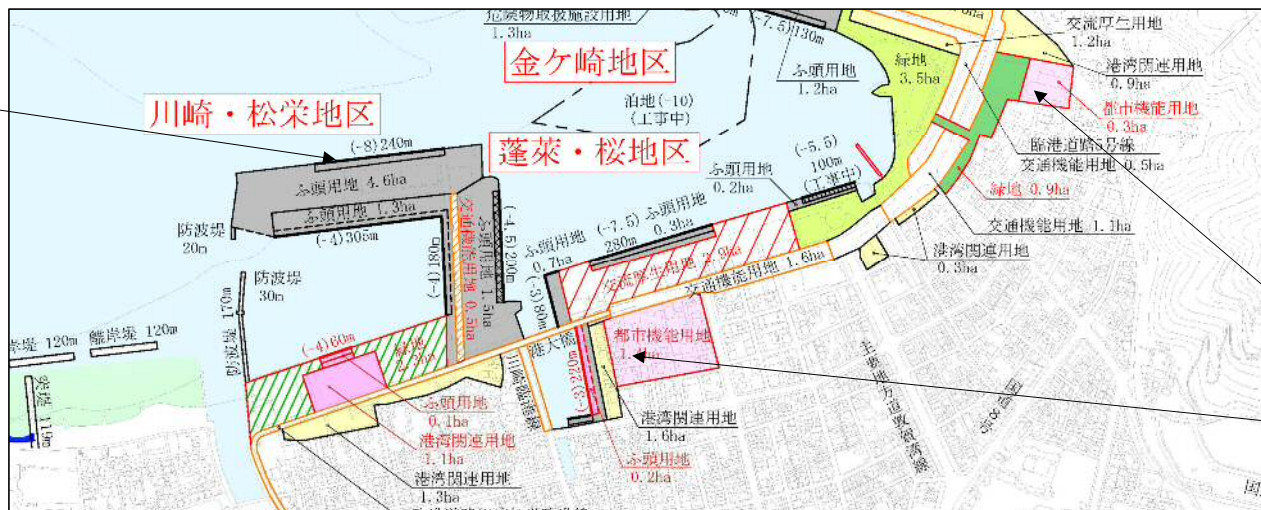




計画変更の内容（川崎・松栄、蓬萊・桜、金ヶ崎地区）

- クルーズ船・外航フェリーの寄港需要へ対応するため、新規に岸壁（水深10m・390m）を位置づける。
- 大型モーターボート12隻の収容に対応する小型さん橋1基を計画する。

【既定計画】

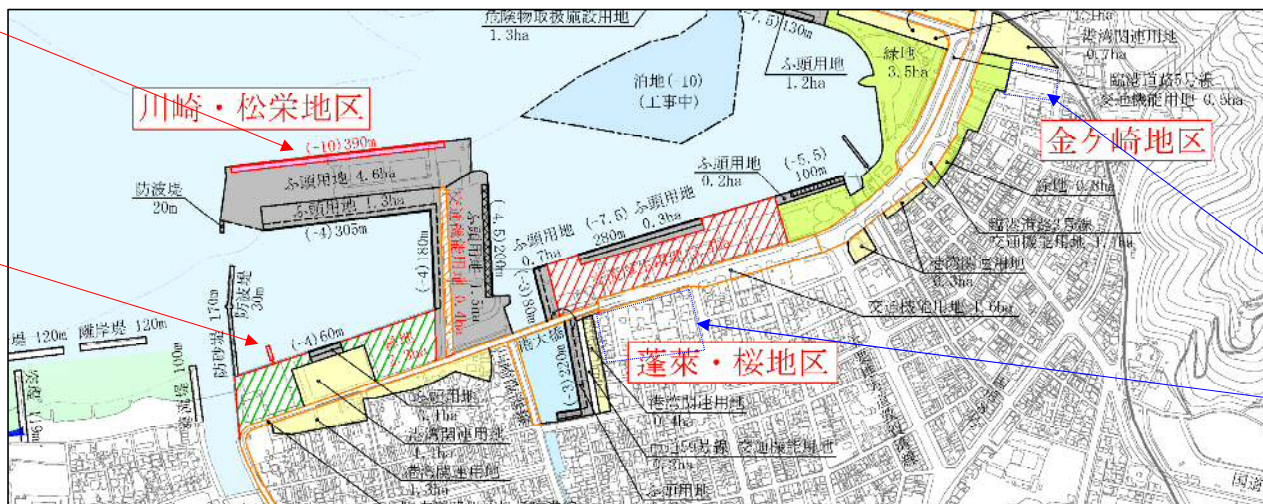


公共岸壁（既定計画）
水深8m 延長240m

都市機能用地（既定計画）
0.3ha

都市機能用地（既定計画）
1.4ha

【今回計画】



公共岸壁（変更）
水深10m 延長390m

小型さん橋（新規）1基

凡例

新規・変更

計画削除

都市機能用地
(計画削除) 0.3ha

都市機能用地
(計画削除) 1.4ha

